

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- わかるできる喜びを感じられる授業
- アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善の継続

＜本年度の学力向上策＞

- 1 児童主体による授業づくりの継続
 - (1) 児童主体による学習計画や学習課題の設定、まとめや振り返り等を行う。
 - (2) 思考力・表現力を向上させるために、書く活動を重視する。
 - (3) 学び方の確立をする。
→パーソナルワーク、グループワーク、クラスワークの工夫
 - (4) モデル学習を取り入れる。
→ポイントシート、ワークシート、チェックシートの工夫
 - (5) 学年協働の教材研究と教材作成を行い、指導法の研究をする。
 - (6) 「植竹スタンダード」をもとにした、授業のユニバーサルデザイン化を図る。
 - (7) 「よい授業」アンケートの集計結果の分析と活用を行う。
- 2 全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果の分析と活用
 - (1) 学習状況調査からみられる各教科の成果と課題を把握する。
 - (2) 家庭学習の手引きの活用をする。

＜本年度の振り返り＞

- 児童主体による授業を継続していくことで、2回目の「よい授業」アンケートの因子④では、1回目の結果を上回った。また、1回目、2回目ともに、良好な結果となった。
- 学校評価の「授業に意欲的に取り組んでいる」「適切な指導、励ましを受けている」項目で、児童・保護者共に9割以上が肯定的な回答となった。わかるできる喜びを感じられる授業に向けて、学年協働の教材研究と教材作成、「植竹スタンダード」の活用ができています。
- 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の結果は、全学年・全教科で良好であり、基礎・基本の定着が図られている。
- 昨年度よりも無回答率が高く、『学びの足あと』を残すことを大切にすることを習慣化できるようにしていく。
- 校内研修が「特別の教科 道徳」となったので、教科の研修をどのように進めていくかが課題である。